

学生企画活動 支援事業報告

今年度は、8件のプログラムが採択され、それぞれ順次進められています。今回は既にイベントが終了している「Let'sリサイクル」と「作ってハッピー☆造形ひろば」「障害のある子どもの笑顔展」に活動報告をしてもらいました。

Let'sリサイクル

第63回輝菟祭では、ゴミの量を減らすこと、またリサイクル活動に参加していただくことにより大学祭に来てくださる全ての方々の環境保全意識を高めることの2点を目的として「Let'sリサイクル」の企画を実施しました。

この企画では、大学祭に出店する各模擬店にリサイクルトレーの使用をお願いし、大学構内2か所に設営したリサイクルセンターで回収を行いました。リサイクルセンターでは、リサイクル活動に参加してくださった方々に、リサイクルトレー3枚で1回の抽選をしていただきました。

今年度も昨年度に引き続き大変多くの方々にリサイクル活動に参加、協力していただき、企画を無事成功させることができました。実施にあたって今後課題とすべきことも多々見つかりましたが、改善策を検討し、今後更に良い活動となるようにしていきたいと考えています。「Let'sリサイクル」の企画にご協力頂き、ありがとうございました。

岩崎 千尋(言語・社会コース2回生)



作ってハッピー☆造形ひろば ~第12回造形ひろば~

地域の方に親子で造形活動の楽しさを味わってもらおうという考えのもと実施してきたこの造形ひろばは、今年で12年目を迎えました。美術科専修の学生を中心とした学生企画として行われました。作ることの楽しさを味わい、友達や親子の絆がより深まり、作った人、関わった人がより幸せになれたら…という思いを込め、「作ってハッピー☆造形ひろば」というテーマで活動しました。

長年、好評の中続けられてきた企画ゆえ今回もリピーターの数は多く、そういった方にも満足して帰っていただけるように頑張りました。今回は例年の粘土を使ったお菓子作りに加え、ラミネーターを用いた絵画活動や、紙粘土を用いたペン立てづくり、紙工作によるおもちゃ作りなどのコーナーを設けました。子どもたちは満足した顔で自分の作品を持ち帰ってくれるので、とてもやりがいがあります。また、この造形ひろばは学生が考えた教材を実践することができるので、貴重な経験の場となっています。

そして、造形ひろばは学生企画活動支援事業に採択されて9年目を迎えました。支援事業として活動させていただくことで、毎年十分な材料や道具を準備することができています。来年度もより一層の努力をし、改善点などを見直し、関わった人が幸せになれるように頑張っていきます。

正木 匠 (身体・表現コース4回生)



障害のある子どもの笑顔展

少しでも多くの人に、子どもたちが無邪気に見えるたくさんの素晴らしい笑顔をお届けしたい、また、障害について知ってほしいという思いから、昨年度より開催している「障害のある子どもの笑顔展」。今年度はこの学生企画活動支援事業に採択され、昨年を上回る多くの人にご来場いただきました。

JDS日本ダウン症協会奈良北支部(バンビーナ21)様や保護者様のご協力のもと、本当にたくさんの笑顔の写真、作品が集まりました。また、ご来場いただいた人の笑顔の写真をその場で現像し、一言メッセージを書いてもらってツリーに飾るという「スマイルツリー」を今年も昨年同様設置しました。「笑顔に勇気をもらいました」「やっぱり笑顔は素晴らしい!」「笑顔は世界を救う!」等、本当にたくさんの元気あるメッセージと素敵な笑顔をいただき、実行委員として関わったことを光栄に思いました。来年度も今年の改善点を生かし、より多くの人に素晴らしい笑顔をお届けすることが出来ればと思います。

濱田 茜(教育・発達基礎コース2回生)



学生企画活動とは

学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、優れた教員等の養成に資することを目的としたものです。詳しくは、HP等を参考にしてください。次年度については、4月から5月上旬にかけて募集する予定です。多くの団体の応募をお待ちしています。

お問い合わせ先:service@nara-edu.ac.jp(学生支援課学生担当)